

投資銀行部門

●業務戦略

国内外の金融市場が急速に変化していくなかで、お客さまに最高の金融サービスをスピーディーに提供するために、投資銀行部門には最先端の金融プロダクツと専門スタッフが集約されています。

新しい組織では、人材、ノウハウ、情報といった経営資源を集中投入することで、商品・サービスの開発力を格段に高めると同時に、シンジケートローンに代表されるような、日本において新たなマーケットの創出を図っていく分野においても、常に市場をリードする体制を構築しています。

注力ポイント

1. 国内外のお客さまのソリューションニーズに応える新種プロダクツの提供
2. 「大和証券SMBC(株)」ほか国内外グループ会社を活用したグローバルなサービス提供
3. 市場型間接金融市場拡大への対応
4. IT関連企業等へのビジネスモデル提案
5. 確定拠出年金業務への本格参入



●新種プロダクツの充実

さまざまな金融ニーズに応えるために、投資銀行営業部、デリバティブ営業部、資本市場部、企業情報部といった投資銀行部門では、営業部と協力しながらお客さまに最適なプロダクツを国内外で提供します。

投資銀行営業部には、債権流動化業務、不動産のアセット・ファイナンスやプロジェクト・ファイナンスといったノンリコース

ローン、リースファイナンスを中心とした開発部門が集約されています。当部門では、これらの商品・サービスラインナップの充実に努めているほか、新たに開発グループを設置し、従来存在しなかったビジネスモデルを専門に開発する体制を築いています。また、デリバティブ営業部では、金利・為替デリバティブというソリューション営業の核となる商品と、市場環境に即してタイムリーに提供するとともに、ウェザー、コモディティといった新種デリバティブ商品の裾野を拡充すべくニーズの開拓を行います。さらに、企業情報部では、企業再編に関する法整備が進んできたことを受け、ますます増加が見込まれるM&Aのアドバイザー業務に取り組みます。



当行はユニバーサル・スタジオ・ジャパンのファイナンスをアレンジしました。

UNIVERSAL STUDIOS JAPAN™
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™
Universal Studios Japan™ & © Universal Studios

●大和証券SMBC(株)との連携

「大和証券SMBC(株)」は、平成11年4月に大和証券グループと当行の共同出資によるホールセール証券会社として営業を開始し、平成13年3月期決算においては、前期比約70%増益となる1,236億円の経常利益を計上し、着実な実績を上げています。平成13年4月には、「さくら証券(株)」から全営業権を譲り受けるとともに、旧さくら銀行の大型M&A業務ほかホールセール証券業務の一部も集約されました。「大和証券SMBC(株)」は、当行および大和証券グループの国内外ネットワークを活かし、伝統的な証券関連商品・サービスを提供することはもとより、M&A、ストラクチャード・ファイナンス、エクイティデリバティブをはじめとする新しいビジネス領域にも積極的に取り組んでおり、事業法人・機関投資家を中心としたお客さまに最高水準のサービスを提供する、本格的インベストメントバンクとなることをめざしています。

市場型間接金融の拡大

市場型間接金融とは、伝統的な貸出業務（間接金融）と市場における貸付債権の売買を組み合わせた新しい金融手法です。シンジケートローン取引はその代表例で、複数の金融機関（シンジケート団）が一つの契約書の下で同時にお客さまに貸出を行います。当行では、シンジケーション営業部を中心としてこのような取引の取りまとめを推進しており、多数の金融機関からなる「市場」へアクセスしていただく機会をご提供することにより、お客さまのより高度な資金調達ニーズにお応えしています。

また、当行はこの業務を推進する一環として、平成13年1月に主要金融機関とともに「日本ローン債権市場協会」を設立し、当行がその会長を務めています。今後は同協会の活動を通じて市場型間接金融市場を整備・育成し、お客さまの多様なご要望にお応えしていきます。

金融ソリューション営業の展開

複雑化・高度化するお客さまのニーズにテーラーメイドで対応するために金融ソリューション室を新設し、お客さまの身近なところできめ細かいアドバイスを行っていきます。

また、IT関連の専門的な知識を必要とするソリューションには、情報通信営業部が国内外の最新の情報と幅広い人脈をもとに、適切なアドバイスを行っていきます。

資産運用業務への取り組み

当行は、投資信託、企業年金、確定拠出年金などの事業にも積極的に取り組んでいます。資産運用業務では、「さくら投信投資顧問(株)」と「大和住銀投信投資顧問(株)」の2つの運用会社

投資銀行部門組織

国内	投資銀行統括部 ストラクチャー審査室 資産運用事業室	・投資銀行業務企画 ・投資銀行業務案件審査 ・確定拠出年金、資産運用業務企画
	投資銀行営業部 金融ソリューション室	・流動化、プロジェクトファイナンス、制度融資、リースファイナンス、LBO / MBO、ノンリコースローン等 ・各種ソリューションサービスの提供
	デリバティブ営業部	・デリバティブ商品の販売、商品開発
	シンジケーション営業部	・シンジケーションのオリジネーション、プレースメント等
	企業情報部	・M&A業務
	資本市場部	・社債の受託業務等
	情報通信営業部	・IT関連企業に係るビジネスサポート
	大和証券SMBC(株)	・ホールセール証券業務
	さくらフレンド証券(株) 明光ナショナル証券(株)	・証券業務
	DLJディレクトSFG証券(株)	・インターネットを利用した証券業務
	さくら投信投資顧問(株) 大和住銀投信投資顧問(株)	・投資顧問業務、投資信託委託業務
	ジャパン・ペンション・ナビゲーター(株)	・確定拠出年金の運営管理業務
	海外	投資銀行営業部(米州、欧州、アジア)
シンジケーション営業部(米州、欧州、アジア)		・シンジケーション業務
SMBCキャピタル・マーケット会社 英国SMBCキャピタル・マーケット会社 SMBCデリバティブ・プロダクツ・リミテッド		・デリバティブ業務
SMBCセキュリティーズ会社 大和証券SMBC海外現地法人		・ホールセール証券業務
SMBCリース・ファイナンス会社		・リース関連業務

を有し、米国のT.ロウプライス、アライアンスキャピタル、ステートストリート等、世界でも指折りの運用機関とも緊密な協力関係を結ぶなど、お客さまの多様化・高度化するニーズにお応えできる体制を整えています。具体的には、これらの会社を通じて、投資信託商品の開発・提供や、お客さまからお預かりした資金の国内外証券市場での運用などを効率的に行っています。

また、今年度中にも導入が見込まれている確定拠出年金制度に対しては、平成12年9月に三井グループ、住友グループ金融8社（当行の合併により平成13年6月現在7社）共同で「ジャパン・ペンション・ナビゲーター(株)」を設立し、確定拠出年金導入に関するコンサルティング業務を開始しています。